

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第三卷 第六號

大正五年十二月一日發行

論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(一)

戸田 海市

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(三、完)

神戸 正雄

參觀交代制度ノ經濟觀(二)

本庄 榮治郎

『座』ノ研究(三)

三浦 周行

代表紙幣ト獨立紙幣(三、完)

作田 莊一

雜錄

公營造物ニ關スル美濃郡、織田、松本三博士ノ
所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(三、完)

福田 德三

戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戸 正雄

簡易保險更張ノ一方面

財部 靜治

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二)

山本 美越乃

人口ト勞銀ノ趨勢

高田 保馬

經濟雜話(六)

田島 錦治

經濟漫錄(三)

瀧本 誠一

金井法學博士在職二十五年祝宴記事

田島 錦治

社會政策學會第十回大會記事

瀧上 正雄

京都法學會大會記事

瀧上 正雄

京都法學會大會記事

京都法學會ハ十月二十八日午後一時半ヨリ本年度大會ヲ法科大學第一教室ニ開ク。荒木總長中島評議員長、市村、佐々木、竹田、藤道、宮本及ビ河田ノ諸評議員ヲ始メ會員ノ來會スル者堂ニ滿シ。定刻中島評議員長登壇、開會ノ辭ニ併セテ會務ヲ報告セラレ一時四十五分ヨリ講演ニ入ル。第一席河田助教授ハ總同盟罷工ニ就テ一時間四十五分ニ涉リテ縱橫明快ニ論議セラレ終リテ二十五分間休憩。三時五十五分再開、第二席竹田教授ハ乘車賃問題ニ就イテ一時間二十分ノ精細懇篤ナル講演ヲ試ミラル。五時十五分中島評議員長ノ閉會ノ辭ヲ以テ講演會ヲ終レリ。會後會員ハ相携ヘテ學生集會所ニ至リ樓上ニ晚餐會ヲ開ク。出席者二百餘名ナリ。市村教授ハ特ニ晚餐會ノ爲ニ趣味多キ南洋視察談ヲ試ミラル。餘興ノ後諸教授、岡本事務官、卒業生大國關兩氏及ビ學生ノ「テーブルスピーチ」アリ、興未ダ盡キザリシモ九時半中島學長ノ發聲

ニテ法學會萬歳ヲ三唱シテ解散ス。

●講演大要

(一) 乘車賃問題ニ就キテ

竹田 教授

(此ノ講演ノ内容ハ京都法學會雜誌ノ方ニ記載スル筈ナレバ、重複テ辨グルタメ本誌ニハ之ヲ省略スルコトトセリ。會員諸氏ハ同誌ニ就イテ一讀セラレムコトヲ希望ス)

(二) 總同盟罷工ニ就キテ

河田助教授

總同盟罷工ニ就キテト題セシガ寧ロ「さんざかりすむ Systematicism」ト總同盟罷工「ト爲スノ當レルヤモ知ル可ラズ。惟フニ總同盟罷工ト云フ中ニハさんざかりすむト密接ノ關係ヲ有スルモノト然ラザルモノトアリ。又其ノ關係ヲ有スルモノノ中ニアリテハ急進的ナルモノト平和的ナルモノトノ區別アリ。前者ガヤヤモスレバ革命的トナルニ反シ後者ハ社會改良ノ一手段トシテ行ハルルモノト解セル。少クトモ勞働者ノ權利伸張ノ一手段トシテ行ハル。而シテ今日ハ主トシテ此ノさんざかりすむト關係アル方ノ總同盟罷工ニ就キテ述ベントスルモノナリ。所論頗ルでりけいさノ問題ナルガ故ニ誤解ナキ様全體ノ議論ヲ閉取ラレムルコトヲ前以テ希望ス。

第一 さんぢかりすむノ概要

(イ) さんぢかりすむノ起源 (一) 英國 さんぢかりすむノ思想ハ先ヅ英國ニ發芽シタリ。即チ英國ニ於テカノ産業革命ガ經濟組織ナ一變シテヨリハ、勞働者ノ狀態日ニ劣惡ニ杜キ、千八百三十年ヨリ四十年ニ至ル時代ニ於テハ殆ンド絶望ノ姿トナリ總同盟罷工ノコトハ此時代ニ始メテ唱道セララルルニ至リ同時ニさんぢかりすむノ考モ其ノ萌芽ヲ發シタリ、然ルニ其後經濟事情ハ勞働者ノ爲メニ餘リ都合悪カラザルモノトナリタルト共ニ、他方ニハ又一般ノ思想ガ急進的ナル破壞ヲ排シテ穩和ナル建設ニ向ヒシガ爲ニ、勞働者モ漸次絶望ノ心底ヨリ脱スルヲ得ルニ至リタリ。而シテ此思想ノ變化及ビ經濟事情ノ改善ニ依リテ英國ニテハさんぢかりすむノ發芽ハ之ヲ見乍ラ然カモソハTrade-union トシテ發達シさんぢかりすむ其物ハ夭折スルノ止ム無キニ至リス。

(二) 佛國 佛國ニさんぢかりすむノ唱ヘラレ其ノ發達ヲ見ルニ至リシハ遙カ後代ノコトニ屬ス。一八八四年ニ勞働者ノ職業的結社ノ許サレテヨリ所謂 Syndicat ハ漸次ニ發達スルニ至リタリ。而シテ佛國ノさんぢかりすむハ英國ノつれいど、ゆににんト異リ當初ヨリ急進的の調ヲ帶ビ Syndicalism ナ培養、來リタリ。コレ佛國ノ産業狀態ガ英國ノソレニ比シテ劣レルニモ因レド他方マタ佛國民ノ國民性ニ基ク事多キガ如シ。實ニヤ一七八九年ノ大革命一八三〇年ノ七月革命サテハ一八四八年ノ二月革命ニ於テ幾多ノ修練ヲ積ミタル佛國民ハ一般的ニ革命兒トハナリシナリ。さんぢかりすむノ發達スル蓋シ偶然ニアラザル

也要スルニ英國ニ於テモ佛國ニ於テモさんぢかりすむハ實際上ノ必要ヨリ生レシモノニシテ決シテ Theorie ニアラズ、此點ニ於テハ Weltschmerz タルカノ虛無主義ヤ或種ノ社會主義ト大ニ其趣ヲ異ニスル所ナリ。而シテ Syndicalism ハ父國タル英國ニテハ其後モ微々トシテ振ハズ母國タル佛國ニ於テ能ク發達スルヲ得タリ。

(1) Syndicalism ノ目的及ビ任務 (一) 勞働者ナシテ階級的ノ自覺 Klassenbewusstsein ナ明瞭ナラシムルコト、コレ勞働組合ガ唯ダ或職業部類ニ屬スル勞働者ヲ見テ勞働者階級トシテ勞働者全體ヲ見ザルト大ニ異ル所ナリ。 (二) 此自覺ノ下ニ勞働者階級全體トシテノ利益ノ維持増進ヲ計ルコト。

(一) 階級闘争 Klassenkampf ナ遂行スルコト。勞働者ハ思ヘラク、生産ニ於テハ元來勞働者ガ殊勳者ナルニ現今ノ資本組織ノ時代ニアリテハ分配不公平ニシテ資本主ノ階級ハ其ノ權力ノ強キガママニ勞働者階級ノ利益ヲ壟斷ス、故ニ勞働者ノ利益ヲ増進セントセバ宜シク資本家主階級ヲ打亡ホシ、勞働階級ヲシテ正當ニ預ルヲ得可キ分配ニ預ラシメザル可ラズト。此ノ階級の利害衝突ノ爲メニコ、ニ階級闘争ヲ行フモノ也。然ラバ階級争闘ニヨリテ何ヲ得ント欲スルヤ。(二) 勞働者ノ爲ニ勞働者ノ社會ヲ作ラントス。コレ社會ノ改造ナリ。分配ノ制度ノ改良ニヨリテ社會ソノモノヲ變革シ勞働者ガ其新社會ノ主人タラントスル也。而シテ此目的ヲ達スルニ革命的手段ヲ取ル者ト改良的

方法ヲ取ルモノトノ二派アリ。此ノ目的ト任務トノ下ニ團結セルモノ即チさんぢがー Syndicat ナリ。而シテさんぢがーニ右ノ如ク漸進的ノモノト急進的ノモノトアレトモ共ニ既成制度 established order ナ打破シ之ヲ革新セントスルモノニシテ現制度ニ對シテハ大敵タルニ相違ナシ。

(ハ) さんぢがート普通ノ労働組合 (Trade-union, Gewerkschaft) トノ差異 さんぢがーハ一種ノ労働組合ナレドモ普通ニ云フ労働組合トハ異レリ。(一) 範圍ニ於テ異レリ。先ツ労働組合ハ同一ノ職業ノ下ニアル労働者ノ團結ニシテ他ノ職業ニ屬スル者ヲ加入セシメズ、紡績業ナラバ紡績業鐵道業ナラバ鐵道業ト云フガ如ク範圍ヲ定ム。然ルニさんぢがーハ職業ノ如何ナ間ハズ苟モ労働者ナル限り單ニ其ノ労働者タル理由ヲ以テ結合スルモノナリ。(二) 目的ニ於テ異レリ労働組合ニアリテハ其ノ團體員ノ利益ノミテ眼中ニ置キ團體外ノ人ノ利益ヲ顧ミザルニ反シテ、さんぢがーハ労働者全體トシテノ階級の利益ヲ高調ス(三) 中心思想上ノ根據ヲ異ニス。労働組合ハ組合精神 Korporationsgeist ニ據テ立ツモノナレドモ、さんぢがーハ無産者階級 Proletariat ト云フ階級精神 Klassengeist ニ立脚ス。(二) さんぢがーが之ノ敵 さんぢがーが階級の自覺ヲ喚起シ階級の利益ヲ主張シ階級闘争ヲ任務トスル事前述ノ如シ。已ニ階級ニ自覺アリ利益アリ、シカモ階級闘争ヲ以テ社會ヲ革新シ現制度ヲ改造セムト欲ス、敵ナキヲ得ザル也。(一) ソノ當面ノ敵ノ企業家及ビ資本家階級ナルハ言チマズ。(二) 次ニ國家モ亦其敵ナリ。蓋シ現時ノ國家組織ハ Bourgeois ノ ancient

regime ニ對スル反抗運動ニ依リテ成リタルモノナレトモ、其後 Bourgeois ノ發達ミテ資本家企業家トナルヤ國家ハ即チ彼等ノ利益ヲノミ眼中ニ置キテ労働者ヲ閉却シ堅固ナル資本主義組織ノ牙城トナレリ資本主義組織ヲ薙サントスルさんぢがーが之ノ敵ノ據城タル國家ヲ破壊セザラント欲スルモ能ハザルナリ。從ツテ彼等ニハ愛國心ナルモノ無シ、オヨソ愛國心ハ人ト自然トノ關係タル故郷ヲ基礎トシ人ト物トノ關係タル私有財産ヲ根據トシテ發生ス。然ルニ彼等ハ自己ノ生地ノ何地ナリヤヲ知ラズ、財産ヲ名クルモノヲ有セズ。彼等ハ故郷ヲ失ヒタル漂泊ノ民ナリ、唯ダ労働ノ與ヘラルル所世界何レノ地ニモ行テ其職ニ就キ、之ヲ失ヘバ又他ニ轉ズ、洵ニ之レ人生到ル所青山アルモノナリ。ゲニヤぞむば、之教授ノ言ノ如ク Der Proletariat hat kein Vaterland ナリ。祖國已ニ無シ 愛國心ノ發生スルノ理アラナヤ。而シテ彼等ハ之ヲ誇ト爲ス。(三) 次ニ軍隊ニ對シテハ一種奇妙ナル態度ヲ持ス。即チ現在ハ自己ノ敵ナレトモ之ヲ説得シテ味方ニヒント欲スルナリ。Bourgeois が國家ヲ作り之ヲ守備センガ爲ニ置ケル番兵ガ即チ軍隊ナルガ故ニ此ニ對シテハさんぢがーが之ヲ抵抗セザルヲ得ズ。然レドモ近世國家ニアリテハ軍隊ハ絶大ノ防禦力ナルバ労働者ハ之ヲ敵トスル限ハ大ナル成功ヲ收ムルコト不可能ナリ。故ニ彼等ハ軍隊ヲ自己ノ味方トセンガ爲ニ、否少クトモ總同盟罷工ノ如キ場合ニ敵對行爲ニ出デザラシメンガ爲ニ、平時ヨリ軍隊ニ Propaganda ナ行ヒツツアリ。曰ク「諸君ハ生レ付キテノ軍人ニアラズ 只強制的ニ練兵スベク余儀ナクセラレタルモノ也。此點ハ

我等ノ大ニ同情スル所ナリ。シカルニ拘ラズモシ諸君ニシテ資本家ノ爪牙トナリ我等ノ總同盟罷工ヲ妨碍セラルルニ於テハ諸君ノ次ニ來ルベキ兵士ハ總テ又労働ニ歸レル諸君ヲ討伐スルナルベシ、故ニ我等労働者ニ對スル諸君ノ發砲ハ即チ諸君自ラニ對スル發砲ト異ル所ナシ、諸君ハ我等ト Das Gleiche ナリ諸君ハ軍服ヲ着ケタル Proletariat ニアラズヤ』ト。

ホ さんぢかりすむ、principle さんぢかりすむハ少數主義 (minority, Minderheit) ナ Prinzip トナス。コト共主義 (majority, Mehrheit) ニ立脚セルト異ル所ナリ。蓋シ明瞭ナル自覺ヲ有スル selected few ノミガ集リテ少數團結ヲ作りテ大衆ヲ率ヒテ事ヲ爲サントスル也。之レ或ハ佛國ニ於テハ大衆團ニ依ル大運動不可能ナルガ故ニ頁々情ミニ少數主義ヲ標榜スルモノタリト云フヲ得可キ乎。然シ現今ノ大勢ニ於テハ社會運動ニ於ケル Internationalism ガ勢力ヲ失ヒシハ事實ナルヲ認メザル可ラズ。まゐくすノ有名ナル冒タル Proletarier aller Länder vereinigt Euch! ハ今日ニテハ餘リ多クノ反響ヲ有セズ。

(一) さんぢかりすむノ理想。 さんぢかりすむノ中ニモ將來ニ對シ理想ヲ盡クモノト盡カザルモノトアリ。(一) 理想ヲ盡クモノヨリ述ベンニ、彼等ノ理想ハ個人ガ細胞トナレル今日ノ社會ヲ排シテ Syndicat ナ細胞トスル新社會ヲ建設セントスルナリ。財産ハ勿論共有ニシテ共產主義ノ下ニオケル彼等ノモノノ社會ナリ。然ルニ之ニ反シ、(二) 全然理想ヲ盡カザルモノナリ。彼等ハ爲以テ人ノ進化發展スルヤ之ヲ teleologisch ニ考フル

ナ得ズ現在ノモノヲ破壊サレテ變化ノ行ハルル之レ即チ進化ナリ故ニ破壊ハ即チ創造ナリ。從テ將來ニ理想ヲ盡キ目的觀的ニ之ニ到達セントスル、誤ナリト。さんぢかりすむガべるぐそ人ノ哲學ヲ以テ哲學ト爲スト稱セラルルハ之ニ依ル也。然レトモ之レ固ヨリ附燒刃ナリ。

(二) さんぢかりすむ、Philosophy さんぢかりすむニ哲學的根據ヲ與ヘタルハ Sorel, Berth ノ阿者ナリトセラル。サレトモさんぢかりすむナルモノハ前述ノ如ク實際ノ必要ヨリ出デシモノニテ Philosophie ナ基礎トオシ Anschauung ニアラズ。

(三) さんぢかりすむノ傳播 佛國西及ビ伊太利ニテ發育セシさんぢかりすむハ現今ニテハ西班牙、丁抹、瑞典、諾威ノ諸國ニ傳播シツツアリ。大體ノ趨勢ヲ見ルニ小商人、小役人、手工業者小農民等多少頭ノ有ル小民ノ多キ國ニ擴ガリ易シ、例ヘバ佛國ニ於ケルさんぢがハ主トシテ郵便電信電話ノ用人鐵道從業員小學校教員等ナリ。英國ハさんぢかりすむノ發祥地ナルモ現在ハ殆ンド勢力無シ。Tom Mann, John Burns ノ阿氏ハさんぢかりすむノ宣傳ニ努メシガ Burns 氏先ツ退キ Mann 氏殘壘ヲ孤守セルモ形勢日ニ不利ナリ。

(四) 目的遂行ノ實行手段 さんぢかりすむハ直接行爲 direct action ナ主張シテ Anti-parliamentarism ナリ。即チ労働者ハ自分ノ事ヲ自分ヲ行ヒ直接ニ社會改良ヲ行ハントスルナリ。社會ニ直接ニ迷惑ヲ與ヘ社會ヲシテ労働者ノ Macht ナ認識セシメ労働者ノ主張ニ服従スルノ止ムナキニ至ラシメントスルニアリ。其手段ノ最重要ナルモノガ即チ總同盟罷工ナリ。

第二 總同盟罷工

(イ) 意義 總同盟罷工ト云ヘバ恰モ一國ノ労働者が全部同時ニ仕事ヲ罷メル事ヲ意味スル如ク聞コユレドモ必ずズモコレヲ要セズ。一國ノ經濟的活動ノ死命ヲ制スルニ足ル重要ナル數種ノ企業ニ屬スル労働者が罷工ヲナスレバヨキナリ。

(ロ) 總同盟罷工ノ起ル理由 同盟罷工ハ不法行為ニアラズ、現今ニテハ労働ハ企業家ト労働者トノ間ニ賣買セラルル貨物ナリ、其價格ハ労働市場ニ於ケル需給ノ關係ニヨリテ定マル、モシ賣手タル労働者が相當ノ代價ヲ請求セルニ拘ラズ買手タル企業家がコレニ應ゼザル時ハ取引成立セザルノミ、故ニ労働者ハ職ニ就クノ義務ナク自由ニ罷工スルノ權利ヲ有スル也。

(ハ) 同盟罷工ノ起リシ回数 米國ノ Michell 氏ノ調査ニヨレバ労働者ハ罷工ニヨリ平均一年ニ一日以内ヲ失ヒ、罷工ハ平均二十三日繼續ス。企業家ハ三十年ニ一度罷工ヲ受ケル割合ナリ然ルニ工場閉鎖ハ平均九十七日繼續シ千ノ工場中二ガ一年平均二回閉鎖ス。因是觀是工場閉鎖ハ同盟罷工ヨリモ *disruptive* ナラズヤ。

- (ニ) 總同盟罷工ノ行ハルル範圍 (一) 産業的範圍 罷工ノ行ハルル産業部類ガ重要ナル場合ニハ割合ニ少キ罷工者ニテ充分ナリ。産業部門ガ重要ナラザル時ニハ罷工者ノ多數ナルヲ要ス
 - (二) 地理的範圍 罷工ノ範圍ガ廣ケレバ産業ノ部類ガ重要ナラズトモ成功ス。地理的範圍ガ狭キ時ニハ其労働者ノ屬スル産業ガ重要ナルヲ要ス、且ツ罷工ノ場所ガ主要ノ地點ナルヲ要ス。
- ホ 總同盟罷工ガ有效トナルベキ條件 (一) 労働者が總同盟

罷工ノ意味ト必要トテ充分自覺シ且ツ目的ヲ達センガ爲ニ凡テ犠牲性ニスルノ覺悟アルヲ要ス。(二) 社會ノ輿論ガ總同盟罷工ノ適法ニシテ其ノ主張ノ正當ナルヲ是認スル事ヲ要ス。(三) 總同盟罷工ハ權利ノ行使ニシテ決シテ假面ヲカブリ暴行ヲ働カントスルモノニアラザル事ガ確メラレザルベカラズ。

(ヘ) 總同盟罷工ノ種類 (一) 經濟的總同盟罷工(平和的ト革命的トノ二種類アリ)ト政治的總同盟罷工(平和的ト革命的トノ二種類アリ)ト由來平和的ノモノ多シ。(二) 平和的總同盟罷工(さんぢかりずむニ關係アルモノト然ラザルモノトアリ)ト革命的總同盟罷工(殆ンド皆さんぢかりずむニ關係ス)

(ト) 總同盟罷工ノ目的中 (一) 權利主張トシテ労働條件ヲ改善ス。労働保險八時間労働等ヲ目的トスルモノニシテモトヨリ正當ニシテ且ツ目的ヲ達シ得ルノ可能性アリ。(二) 革命ノ方法トシテ社會ヲ根本的ニ改造ス、同盟罷工ガ社會革命ヲ目的トシ又之ヲ遂行シ得ヘシト考フル人ト然ラザル人トアリ。Brandノ如キ前者ノ意見ヲ有力ナル代表者ナリ。然レドモ余ハ總同盟罷工ガ革命ヲ成就シ得可シトハ信ズル能ハズ。其理由次ノ如シ。(1)

總同盟罷工ハ具體的ノ目的(八時間労働、労働保險等)ヲ有シ且ツ之ヲ行フニハ組織的ナラザルベカラズ。然ルニ社會主義トカ共產主義トカ云フモノハ云ハバ之レ一種ノ Anschauung ニシテ具體的内容ヲ有セズ、從テ之ヲ目的トシテ總同盟罷工ノ起リ、得ルモノニアラズ。(2) タトヘ社會主義實現ノ目的ノ爲メニ總同盟罷工ノ起リ得ルトスルモ、總同盟罷工ニ依リ魔術師ノ杖ノ如ク一擊ニシテ社會ヲ改造セントスルガ如キハ妄想ナリ。

進化ハ一步一步ニ進ムモノニテ決シテ峯ヨリ峯ニ飛ブモノニア
ラズ。殊ニ現今ノ資本主義ハ軍隊ナル invincible ノ大防禦力
ヲ有ス、コレアル限ハ一國ノ職工ガ全部コソツテ竹席蒲葦ヲ搦
ケルモ終ニ何等能ク爲スナキナリ。

(チ) 總同盟罷工ノ是認セラルベキ場合ト效果アル場合 總同盟
罷工ハ勞働條件ノ改善ノ爲コレナリフ場合ニ限り是認セラル。
而シテ其方法ガ暴力ヲ避ケ平和的ノソレナトル時ニ於テノミ有
效トナル。又總同盟罷工ハ直接ニハ現社會ヲ改善スルチ得ザレ
ドモ之ニヨリ資木家ヲ反省セシムルノ間接ノ效果ハ之ヲ有ス。

第三 Syndicalism ガ目的遂行ニ用ル其他ノ實行方法(總同
盟罷工ノ補助手段) (一) Boycott 或種ノ勞働者ガ一定ノ資本
家ノ雇傭ニ應ゼズト決議シタル場合ハコレ生産者トシテ有スル
實力ヲ社會ニ認識セシムルナリ。又或商店ノ商品ニ對シ不買同
盟ヲ結ビシ時ハ消費者トシテ有スル實力ヲ認識セシムナリ。

(二) Ostracism 自門ノ仲間ノ利益ニ反スル者ヲ仲間ヨリ排斥ス
ル方法ナリ、Lawyer ニ於ケル slyster ノ如ク doctor ニ於ケル
Quack ノ如ク勞働者ハ資木家ニ内通セル者 scab ヲ排斥ス
(三) Go-Canny (Ca-Cannie), Go slowly ノ意ニシテ、仕事山
積シ目ノ廻ル様ニ繁忙ナル時ニ故意ニ馬鹿手間ヲカケ企業家ヲ
苦シムル方法也。(四) Sabotage 此方法ハ外見頗ル紳士ヲシテ

行ハレ暴行ヲ伴ハズ。其本質ハ企業家ノ利益ヲ願慮セザル事ニ
存ス。故ニ時トシテハ社會ニ好影響ヲ與フル事モ少カラズ(尺
度ヲ胡魔化スヲ店則トセル吳服店ニアリテ店員ガ客ニ此秘密ヲ
洩シ又ハ精確ニ尺度ヲハカルガ如キ此例ナリ) 然レドモ其一

種タル消極的反抗ニ至リテハ頗ル非紳士的ナリ。此方法ハ同盟
罷工ヲ行ハントスルモ事實行ハレザル場合ニ採用セラル(伊太
利ニテハ鐵道従業員ガ汽車到着ノ時ニ一々規則通りノ仕事ヲナ
シ汽車ノ發車時刻ヲ遅ラシタリ。埃太利稅關ニテハ鷄卵ノ検査
ニ一個一個其ノ包装ヲ解キ故意ニ時時ヲ費シタルコトアリ)

さばたーヂノ哲學ニ曰ク「人ト物トハイゾレガ貴キヤ。資本
主ト財産トノ間ニハ密接ナル關係存スルモ我等無産者ハ財産ト
何等ノ利害關係ヲ有セズ。高等ナル吾人人間ノ利益ノ爲ニハ下
等ナル物品ヲ損傷スルモ可ナラズヤ」ト。

第四 結論 さんぢかりすむ總同盟罷工トノ關係ハ上述ノ如ク
諸君ハ此講演ニヨリ殊ニ Sabotage ノ事ヲ聞キ一種異様ノ感
ニ打タレズヤ。一種頹廢的絶望的ノ氣分ヲ感ゼズヤ。普佛戰爭
ノ後ふるべるハ此ノ疲レタル佛國民ノ頹廢セル精神ニハ潑刺
タル生氣ハモハヤ蘇ルコトナカル可シト歎キタリ。而シテさん
ぢかりすむハ此ノでかだんすノ氣ノ中ニ生レタルモノナリ。然
ルニ Poincaré ノ佛蘭西ニハ再び生氣ノ蘇リ向上努力ノ精神ヲ
表ハシ來リタリ。彼ノ Bergson ノ生ノ哲學ノ如キ何ゾ故ナク
シテ生レシヤ。殊ニ今次ノ戰爭ニヨリ新思潮ハ益々努力的建
設ニ向ツテ進ムニ至ル可シ。さんぢかりすむニシテモ從來ノ
decadence ノ傾向ニ執着スルナラバ終ニ社會ヨリ葬リ去ル
ベシ(法科大學々生沙見三郎筆記)

正誤

前號(第三卷) 節用論ノ文中左ノ如ク正誤ス 田島
第九號(第九號) 第七頁第五行「貨幣ノ意味」ハ「貨幣ヲ意味」ト收ム
第十四頁第五行「他方」ハ地方ノ誤
第十五頁第四行上ヨリ八字目ノ社會的ノ三字ヲ刪ル